

第137回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策18区シリーズ・第12回」

2019年5月1日(水) 「旭区・グリーンロード散策」

*集合：相鉄線二俣川駅(改札口) 9時50分厳守同時出発

*解散：相鉄線鶴ヶ峰駅



あさひくん



朝顔

旭区は、昭和44年10月1日に、保土ヶ谷区からの分区により誕生しました。旭区は多摩丘陵の起伏に富んだ谷戸地形で、「ふるさとの里山」ともいえる美しい景観が保全されています。「横浜市緑の7大拠点」のうち3拠点が旭区にあります。(旭区観光協会パンフより抜粋)

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★旭区役所発刊図書ほか

①自然公園通り

二俣川駅南口からこども自然公園まで見事なイチヨウ並木が続いています。

②宮沢遺跡

昭和44～45年、56年に発掘調査され、およそ4500年前の縄文時代中期の竪穴住居跡9軒のほか、多数の縄文土器や石器が発見されました。

③鎌倉・大山道追分

旧鎌倉街道(中の道)の追分です。昭和53年(1978)までこの道は三差路で、東に行けば旧東海道の保土ヶ谷宿、南に行けば鎌倉、西に向かえば大山道につながりました。

④こども自然公園

起伏に富んだ丘陵地を生かした約50haの市内最大級の公園で、江戸時代に造られた大きな溜池があります。公園には4つの谷戸があり、その西側の谷戸がゲンジボタルの自然発生地になっています。

⑤武相国境の碑

この碑の立つ細い尾根道は、武蔵の国都筑郡二俣川村(南本宿町、大池町、柏町)と相模の国鎌倉郡中川村(戸塚区名瀬町、泉区緑園都市)との国境の道でした。

⑥上田新明社

旧本宿3神社の一つ。南本宿市民の森の一角にあり、一村に3神社があるのは珍しく、昔は3社順番に村祭りをしていました。境内には、宝永5年(1708)の庚申塔のほか、江戸後期の道標不動明王、地神塔、道祖伸、石祠などが置かれています。

⑦南新宿市民の森

尾根の道沿いには、見事なスギの木がたくさん続い

ています。またハウチャクソウの群落を観察することもできます。近くにはこども自然公園があり、一体は豊かな自然に恵まれており鳥の声を聞きながらの森林浴ができる市民の森です。

⑧市民ふれあい樹林

地元では通称「ジャングル山」と呼ばれている樹林で、クヌギ、コナラを主体とした、なだらかな台地です。林の中は安心でき、どこか懐かしい雰囲気があります。

⑨神田公園

平成2年(1990)12月15日開園で、このあたりの地名は字名が神田(じんでん)であったことから「神田公園」と名付けられました。

⑩子育て地蔵

宝暦14年(1764)造立。銀杏の根元にある櫛は、ヒサカキと言い関東地方に多い櫛です。

⑪柵谷公園

園内の多目的公園は、少年野球やサッカーなどに利用でき、休日はとても活気があります。

⑫馬頭観音

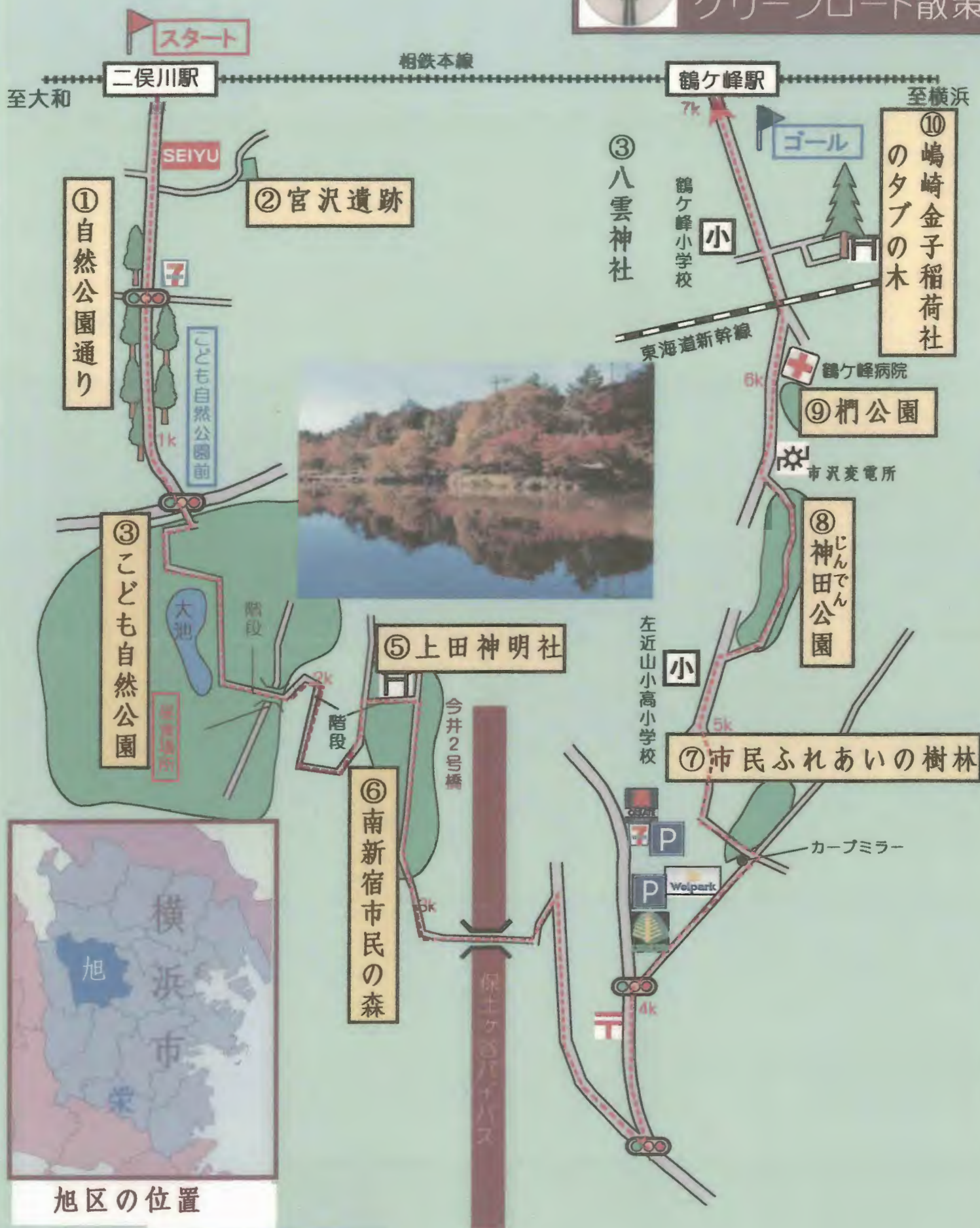
天明7年(1787)造立。馬頭観音のお世話をしていた「サッチャン」というおばあさんに、馬頭観音が乗り移って易をみるようになったという話が伝えられています。

⑬嶋崎金子稲荷社のタブの木

樹高25m、樹冠の広がり24m、樹齢約350年といわれ、昭和59年(1984)に「かながわの銘木100選」、昭和63年横浜市の天然記念物に指定されました。



旭区 グリーンロード散策



横浜散策18区

本郷ふじやま公園古民家歴史部会

dimson